

2018(平成30)年度鳥取県国際関係事業一覧

2018年3月22日現在

対象地域	事業名	担当課	予算額 (千円)	主な事業内容
広域	第23回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット	交流推進課	1,250	当県が1994(平成6)年から友好交流地域(韓国江原道・中国吉林省・ロシア沿海地方・モンゴル中央県)と持ち回りで開催している「北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」がロシア沿海地方で開催されることから出席する。 時期:10月、場所:沿海地方
広域	第23回北東アジア地方政府サミット関連事業「第20回北東アジア美術作品展示会」	文化政策課	2,750	「北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」の関連行事として「第20回北東アジア美術作品展示会」を開催する。参加地域の美術作家による作品を展示し、文化芸術に対する相互理解の促進を図るとともに、美術家間相互の交流を促進する。 (1)美術作品の出展(各地域15点) (2)代表団の派遣(時期:10月(5泊6日)人数:3名))
広域	第23回北東アジア地方政府サミット関連事業「経済協議会」	通商物流課	535	「北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」の関連事業として、ロシア沿海地方で開催される「経済協議会」に出席する。 時期:10月、場所:沿海地方
広域	第23回北東アジア地方政府サミット関連事業「環境保護機関実務者協議会」	環境立県推進課	2,943	「北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」の関連事業として、ロシア沿海地方で開催される「環境保護機関実務担当者会議」に出席する。予め設定した環境問題に関するテーマに沿って意見交換、情報交換等を実施し、参加地域間の連携・協力の方策を検討する。 時期:10月、場所:沿海地方
広域	東アジア地方政府観光フォーラム(EATOF)総会開催事業	観光戦略課	23,000	東アジア10地方政府の行政・観光業界等の関係者が集い、東アジア域内の交流推進と世界各地からの観光誘客を目的とする「東アジア地方政府観光フォーラム(EATOF)総会」を当県で開催する。 [参加地域]鳥取県(日本)、江原道(韓国)、吉林省(中国)、中央県(モンゴル)、ジョグジャカルタ特別州(インドネシア)、セブ州(フィリピン)、サラワク州(マレーシア)、クアンニン省(ベトナム)、シェムリアップ州(カンボジア)、ルアンパバン県(ラオス) 時期:8月(調整中)、場所:県西部(調整中)
広域	北東アジア地域産業技術交流事業(「北東アジア産業技術フォーラム」)	産業振興課	773	当県と当県の友好交流地域である韓国江原道、中国吉林省が持ち回りで開催している「第8回北東アジア産業技術フォーラム」へ当県代表団を派遣する。フォーラムにおいて、行政関係者及び研究者が産業技術開発に関する施策、産業技術開発の取組状況の発表を行い、地域間における産業振興、共同研究開発等の促進を図る。 時期:未定、場所:吉林省、人数:6名程度
広域	東京オリ・パラターゲット競技事業(ターゲット事業)	スポーツ課	29,546	「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の日本代表選手を目指す本県選手に対して海外への合宿・大会等の遠征経費を支援する。 対象競技:6競技(セーリング、ボート、飛込、ボクシング、クライミング、車いす陸上) 選手数:計11名、時期:4月～3月(随時)、場所:世界各地
広域	国際競技大会開催事業	スポーツ課	81,916	(1)ワールドカデットチャレンジ大会2018 15歳以下の主要地域選抜選手が出場する卓球国際大会を開催する。 時期:10月、場所:鳥取県鳥取市、 招聘国:6大陸から男女計12チーム、ホープス(小学生)海外選抜男女計2チーム、 参加総数約120名 (2)IFSCクライミングアジア選手権2018 アジア地域の選手が参加するスポーツクライミング国際大会を開催する。 時期:11月、場所:鳥取県倉吉市、 招聘国:中国、韓国、モンゴル、台湾、イラン、インドネシア、シンガポール、 カザフスタン、香港、マカオ、インド、マレーシア等 参加総数約200名 (3)クロアチアを拠点とするレーザ一級合同チームの合宿 全日本レーザ一級選手権大会(場所:境港市)に合わせた、クロアチアを拠点とするセーリング競技レーザ一級合同チームによる合宿の受入れ。 時期:10月、場所:鳥取県境港市、 招聘者:レーザ一級合同チーム7名(クロアチア、キプロス、ハンガリー、日本)
広域	関西ワールドマスターズゲームズ2021開催準備推進事業	スポーツ課	14,465	2021(平成33)年、当県を含む関西一円で開催される「関西ワールドマスターズゲームズ2021」を成功裏に開催するため、大会組織委員会や県実行委員会へ負担金を支出し、本県開催競技のPR、準備等を進める。(国際案件のみ記載) (1)アジア太平洋マスターズゲームズ(APMG)2018 時期:9月、場所:マレーシア(ペナン) (2)世界ベテランズ国際柔道大会2018 時期:秋頃、場所:未定
広域	大規模スポーツ大会開催等による鳥取の魅力発信事業(「新生」鳥取マラソン支援事業)	スポーツ課	7,500	当県が実行委員会の一員として参画する「新生」鳥取マラソンへ、海外ランナーの参加を更に促進するため、国内外の旅行社と協力し、ツアー商品の造成等を行う。 時期:3月頃、場所:鳥取県鳥取市、人数:100名程度
広域	グラウンド・ゴルフ聖地化推進事業(国際大会の県内開催(湯梨浜町と共催))	スポーツ課	2,000	子どもからお年寄りまで誰でも楽しむことのできる鳥取県湯梨浜町発祥のグラウンド・ゴルフの普及促進及び国を超えたプレーヤー同士の交流を図るとともに、「関西ワールドマスターズゲームズ2021」の中で世界大会の開催を目指す。 時期:5月、場所:鳥取県湯梨浜町
広域	グラウンド・ゴルフ聖地化推進事業(モンゴルルートを活用したロシア・中央アジア・東欧等への展開)	スポーツ課	629	モンゴルで開催されるアジア大会への参加を通じて、モンゴルとネットワークができている東南アジアや中央アジア諸国等の参加国のキー人材へアプローチし、競技団体の組織化を働きかける。あわせて県内で開催予定の国際大会への誘致、「関西ワールドマスターズゲームズ2021」のPRを行う。 時期:7月、場所:モンゴル・ウランバートル市

対象地域	事業名	担当課	予算額 (千円)	主な事業内容
広域	スポーツツーリズム推進事業 (ウォーキングリゾートの推進)	中部総合事務所 地域振興局	9,596	2016(平成28)年10月に開催した「ワールド・トレイルズ・カンファレンス(WTC)鳥取大会」の成果を活かして、世界に通用するウォーキングコースの整備を進め、ウォーキング等を活用した地域づくりとインバウンドの推進を図る。 また、県中部で開催されるウォーキング大会を通じて、関係団体・住民ボランティアと一丸となって、鳥取県中部地震からの復興と元気な鳥取県を国内外に発信する。 (1)世界に通用するウォーキングコースの整備 (2)ウォーキング大会への支援 (3)ウォーキングリゾートととりの情報発信
広域	フラダンス全国大会開催支援事業	中部総合事務所 地域振興局	3,000	2016(平成28)年10月に発生した鳥取県中部地震からの復興をアピールし、県内外及び海外からの誘客を図るとともに、鳥取県中部が「フラダンスの聖地」となることを目指して、県中部1市4町・関係機関が連携して開催するフラダンスの全国大会を支援する。 時期:9月(予定)、会場:鳥取県中部(主会場:倉吉未来中心)、 規模(想定):延べ3,000人
広域	多地域連携スポーツ交流事業 (3地域青少年スポーツ交流事業)	交流推進課	2,117	当県が1994(平成6)年から友好交流地域(韓国江原道・中国吉林省・ロシア沿海地方・モンゴル中央県)と持ち回りで開催している「北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」での合意に基づき、青少年交流や相互協力の拡大を図るため、当県と環日本海定期貨客船で結ばれている江原道並びに沿海地方の3地域が次世代を担う青少年によるスポーツ交流を行う。 時期:7月頃、場所:沿海地方、人数:16名
広域	まんが王国発ソフトパワー事業 (「第7回まんが王国ととりに国際マンガコンテスト」)	まんが 王国官房	11,724	個性あふれる優秀な漫画作品を発掘・顕彰し、「まんが王国ととりに」から世界に向けて発信することを目的として、「第7回まんが王国ととりに国際マンガコンテスト」を開催する。 時期:募集(4月～8月)／表彰式(2月頃)、場所:鳥取県
広域	第9回ととりに伝統芸能まつり	文化政策課	13,257	地域で守られてきた伝統の行事・芸能を次世代に引き継ぐための取り組みとして、地域伝統芸能の伝承並びに活用の気運を広げることを目的として、伝統芸能から派生する新たな要素を取り入れながら、「第9回ととりに伝統芸能まつり」を開催する。 時期:5月27日(日)、場所:鳥取県米子市、人数:海外から1団体を招へい
広域	交流ネットワーク活用事業(世界ととりにファンクラブ会員等への情報提供等委託)	交流推進課	800	海外や県外において当県とゆかりのある外国人や県人会といった交流ネットワークを活用し、効果的な当県の情報発信を行うことで交流活発化や地域活性化を図るため、世界鳥取ファンクラブ会員やととりにふるさと大使が、自身が居住する地域において当県のPRを実施する。
広域	交流ネットワーク活用事業(自治体国際化協会海外共同事務所設置費)	交流推進課	6,000	地域の国際化を一層推進するための地方公共団体の共同組織である「一般財団法人自治体国際化協会」の海外事務所を設置するための負担金。
広域	交流ネットワーク活用事業(海外県人会助成事業)	交流推進課	1,435	海外や県外において当県とゆかりのある外国人や県人会といった交流ネットワークを活用し、効果的な当県の情報発信を行うことで交流活発化や地域活性化を図るため、鳥取県出身者により組織されている3つの県人会に対し助成を行う。
広域	交流ネットワーク活用事業(青少年国際協力支援事業)	交流推進課	400	青年海外協力隊鳥取県OV会の活動費を助成する。 [帰国報告会開催事業] 広く一般県民に県出身隊員の活動を紹介し、活動に対する理解や協力隊への参加を呼びかけるために帰国報告会を開催する青年海外協力隊鳥取県OV会に対して助成を行う。 [普及広報活動事業] 活動冊子を作成し、青年海外協力隊の実態を広く県民に知らせることで国際協力に対する理解と関心の呼び起こしにつなげる。
広域	国際交流員活動費	交流推進課	66,456	国際交流員を配置し、交流地域との交流事業における通訳・翻訳・連絡調整等を行う。また、学校や地域住民等からの要請に基づき、国際理解講座の講師を務める等、国際理解の促進を図る。 人数:15名(韓国5名、中国3名、ロシア2名、モンゴル1名、英語圏2名、台湾2名)
広域	派遣研修費(海外研修派遣)	人事企画課	21,403	職員の行政能力を向上させ、今後の施策反映・効率的な業務遂行を図るため、また国際化に対応できる人材を育成し、関係国との交流に資するため、国内外の機関へ研修派遣を行う。 (1)自治体国際化協会海外事務所 2名 (2)韓国・江原道 1名 (3)中国・吉林省 1名 (4)海外派遣者の事前語学研修 3名分
広域	鳥取県国際関係調整費	交流推進課	12,460	環日本海諸国等への各種訪問団派遣依頼に機動的に対応するため、また、外国人来賓、環日本海諸国からの各種訪問団の受入等に対応する。
広域	グローバル・リーダー育成事業	教育委員会 高等学校課	11,473	急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ、語学力とともに、幅広い教養、問題解決力等の国際的素養を身に付け、将来様々な分野において国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成する。 国事業(SGH:スーパーグローバルハイスクール)を活用し、国内外の大学や企業、国際機関等と連携を図り、英語を使う機会の飛躍的増加、先進的な人文科学・社会科学分野の教育の重点化等に取り組む高等学校等を指定し、質の高いカリキュラムの開発・実践やその体制整備を支援する。
広域	鳥取発!高校生グローバルチャレンジ事業	教育委員会 高等学校課	9,923	国内企業(県内企業を含む)の海外進出や外国人雇用、英語の社内公用語化等のグローバル化が進展する中、留学等の海外体験を通じ、柔軟な思考力や豊かな表現力を持ち、国際社会で活躍する人材を育成する。 (1)短期又は長期留学を希望する高校生への留学費用の助成 (2)海外進出企業等での研修や現地の生徒等との交流のため高校生を海外に派遣 (3)理数課題研究等発表会の優秀者を海外に派遣 (4)英語弁論大会の優秀者をニュージーランドに派遣

対象地域	事業名	担当課	予算額 (千円)	主な事業内容
広域	県立学校裁量予算事業(学校独自事業・国際交流関係)	教育委員会 高等学校課	9,850	学校長による独自性のある学校運営の実施を目的として、学校長の裁量による予算執行を認め、学校の自立度の向上、生徒の状況に応じた学校づくりを推進する。 (1)海外研修旅行・2校(韓国:1校、台湾:1校) (2)海外交流校との学校間交流・13校(※複数の国と交流する学校が2校、韓国:8校、中国:1校、台湾:2校、その他:4校)
広域	外国語教育改善指導費	教育委員会 高等学校課	123,581	グローバル化が進化した現代社会において必要となる外国語教育の充実を図るため、県立高校に語学指導等を行う外国語指導助手(ALT)26名を配置する。
広域	図書館国際交流事業(旧環日本海図書館交流事業)	教育委員会 図書館	11,673	環日本海諸国(韓国・中国・ロシア)の原書やその地域について記述された日本語図書の収集・提供など、鳥取県(県民)と環日本海諸国との交流を促進する。また、環日本海交流室の機能を拡充し、洋書も含め広く海外情報を収集提供する国際交流ライブラリーにおいて、幅広く国際交流や国際理解の促進に努める。 2018(平成30)年度は、中国河北省図書館を招聘し、図書交換をはじめとする交流事業の充実に向けた協議を行い、交流を深める。
広域	鳥取県議会議員海外調査派遣	県議会事務局	-	鳥取県議会として県政課題等を考慮して、調査を行うとともに海外地域との友好交流の促進を図る。派遣地域及び派遣議員等については、今後、議会内で協議して決定する。
広域	とっつりの民工芸海外販路拡大事業	販路拡大・ 輸出促進課	2,500	当県の重要な知的財産である和紙、絣、郷土玩具、陶磁器、木竹工等の民工芸の魅力と価値を国外に情報発信し、民工芸品の販路拡大を図り、併せて本県への観光誘客を図る。
広域	アジア地域経済交流推進事業	通商物流課	18,516	アジア地域との経済交流や連携のさらなる促進を目的とし、同地域からの訪問団の受入れ、商談会への参加、航路利用促進に係る会議等に機動的に対応する。
広域	環日本海圏航路利用促進事業	通商物流課	8,462	2016(平成28)年12月、日露間における人的交流の拡大に向けた方策の一つとして、2018(平成30)年を「ロシアにおける日本年」及び「日本におけるロシア年」とすることが両国首脳により合意されたことから、日露経済協力の進展と併せて日露両国間の人と貨物の往来の増大が予想される。また、韓国では平昌オリンピック・パラリンピックの両大会が開催され、首都圏から東海岸までのアクセスも飛躍的に向上する見込みである。 このような機会に境港～東海(韓国)～ウラジオストク(ロシア)を結ぶ環日本海圏航路の利用に確実につなげるため各種事業を実施する。
広域	GTI(広域圏間江開発計画)と連携した北東アジア輸送ルート確立事業	通商物流課	11,534	環日本海定期貨物船航路の北東アジア地域における国際輸送ルートの確立に向け、GTI地方協力委員会等に参画する。また、国際貿易博覧会への出展を通じて県内企業の海外展開を支援する。
広域	伸びるASEAN新規市場からの誘客事業	観光戦略課	14,100	訪日外国人観光客数の伸びが著しいASEAN(東南アジア諸国連合)からの誘客による本県観光産業の振興を図るために、現地旅行博等への出展や情報発信を行う。経済成長が著しく、訪日観光客数が急伸しているベトナム・フィリピンについては、ゴールデンルート(東京～大阪)の次の訪問地として訪日地方旅行の先駆地域を目指す。また、米子香港便のトランジット(乗り継ぎ)活用による誘客を図るため、メディア取材等を実施する。
広域	【地方創生推進事業】東アジア市場誘客事業	観光戦略課	61,257	当県を訪問する東アジア市場(韓国・香港・台湾・中国)からの外国人観光客を増加させることにより、県内観光消費額の増大と本県観光産業の一層の発展を図るため、当県の国際定期便や近隣空港定期便、県内空港へのチャーター便を利用し、近隣各県や海外地方政府、民間事業者と連携した情報発信やメディア招請などの外国人観光客誘客に取り組む。
広域	国際観光推進費	観光戦略課	37,226	当県への外国人観光客を増加させ、観光産業の振興及び県内発着の国際定期便(米子ソウル便、米子香港便、環日本海定期貨物船)などの国際交通基盤の維持・発展に寄与するため、近隣各県や海外地方政府、民間事業者と連携した情報発信やメディア招請などの誘客活動を実施する。 (1)広域連携国際観光推進事業負担金 (2)JR西日本との連携事業 (3)外国人観光客倍増促進事業補助金 (4)多言語ホームページ維持管理・観光PRツール制作費 (5)国際観光業務非常勤職員配置・その他事務費
広域	外国人観光客送客促進事業	観光戦略課	42,920	当県を訪れる外国人観光客の増加により、県内観光消費額を増加させ本県観光産業振興を図る。 (1)外国人観光客送客促進事業補助金 (2)外国人観光客誘致対策補助金
広域	【地方創生交付金】外国人観光客受入推進事業	観光戦略課	22,876	当県を訪れる外国人観光客の利便性を高め、鳥取ファンやリピーターの獲得・拡大へつなげるため、官民が連携し受入環境の整備を実施する。 (1)外国人観光客倍増促進補助金 (2)国際観光案内体制の整備 (3)県内各観光施設等の多言語対応の充実・利便性の向上 (4)おもてなしの充実
広域	観光周遊促進支援事業	観光戦略課	23,161	近年増加している個人旅行者に対する利便性及び当県旅行商品の魅力向上につなげることを目的として、基幹交通拠点等を出発地として観光地を巡るプランを充実する。 (1)境港国際ターミナルと米子駅を結ぶリムジンバスの運行及び広報支援 (2)県内に発着又は宿泊する外国人旅行者向けに主要観光地等を周遊するタクシー等の運行及び広報支援 (3)空港や駅から主要観光地を周遊するバス等の運行及び広報支援 (4)「とっつりのりもの総合案内」の作成
広域	国際航空便就航促進事業	観光戦略課	11,250	近年、訪日外国人観光客が全国的に顕著な伸びとなっていることを踏まえ、当県の2つの空港(鳥取砂丘コナン空港・米子鬼太郎空港)を活用し、海外の様々な地域との結びつきを深めていく。 (1)チャーター便就航促進支援 (2)「ようこそ鳥取県」国際チャーター便促進支援補助金

対象地域	事業名	担当課	予算額 (千円)	主な事業内容
広域	クルーズ客船受入推進事業	観光戦略課	1,900	クルーズ客船の鳥取港及び境港寄港による当県への経済波及効果を最大限に引き出すため、クルーズ客船寄港時、より多くの乗船客が県内観光地に立ち寄るよう、県内観光素材の売り込みを強化するとともに、周辺施設等を周遊するバスの運航支援により受入環境の充実を図る。 (1) オプショナルツアープロモーション強化 (2) 周遊バス運行支援 (3) オプショナルツアーコース提案支援
広域	環日本海定期貨客船航路利用促進費	観光戦略課	4,600	環日本海定期貨客船DBSクルーズフェリーの旅客利用のうち、特により一層の利用促進が必要な日本からの利用者の増加を図るための支援を行う。 (1) 国際定期便利促進協議会負担金 (2) シャトルバス運行委託費
広域	東京オリ・パラ及びRWCを活用した誘客促進事業	観光戦略課	2,000	2019年のラグビーワールドカップ開催、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を当県PRの絶好の機会と捉え、来日する観光客の誘客を目的に、旅行会社と連携した商品造成や認知度向上のためにブロッガー等を使った情報発信を行う。
広域	世界に通用する鳥取県の魅力発信事業	観光戦略課	6,500	近年急増している訪日外国人個人旅行者(FIT)に対して、県内の観光情報をホームページやSNSにより発信するほか、発信結果のデータ分析(嗜好等)等を実施し、更なる個人旅行者の誘致に取り組む。
広域	一般社団法人山陰インバウンド機構運営事業	観光戦略課	100,000	増加する外国人観光客の誘致を促進するため、「山陰」を対象とした観光地域づくりの中心(マネジメント)となる機能をもつ山陰インバウンド機構の運営費を負担する(鳥取県、島根県が同額ずつ負担)。 外国人観光客向けの新たな事業創出のため、人材育成、事業シーズの育成支援及び外国人向け体験メニューの販売支援及び開発等を行う。
韓国・江原道	韓国交流推進事業(鳥取県江原道職員相互派遣事業)	交流推進課	4,146	当県の友好交流地域である韓国江原道との間で職員の相互派遣を実施し、職員が語学や地方行政の習得を行うとともに、両地域の相互理解の促進、人的ネットワークの形成等を通じ、友好関係の更なる発展を図る。(※当県と江原道は、1994(平成6)年に「友好提携に関する協定書」を締結。) 時期: 4月～3月(1年間)、場所: 鳥取県/江原道、人数: 派遣/受入 各1名
韓国・江原道	韓国交流推進事業(「江陵(カンヌン)国際青少年芸術祝典」派遣事業)	交流推進課	1,010	韓国江原道で開催される「江陵国際青少年芸術祝典(主催: 社団法人江陵市芸術文化団体総連合会)」に県内の青少年による文化公演団を派遣する。 時期: 7月～8月、場所: 江原道江陵市、人数: 12名程度
韓国・江原道	韓国交流推進事業(江原道への次年度交流協議団の派遣事業)	交流推進課	439	韓国江原道との交流事業を効果的かつ円滑に実施するため、翌年度事業に係る包括的な協議を行う。 時期: 1月～2月、場所: 江原道、人数: 3名
韓国・江原道	国際文化交流事業(鳥取県文化団体連合会国際交流支援事業)	文化政策課	951	鳥取県文化団体連合会と韓国芸総江原道連合会(江原道の文化団体)が芸術文化の相互理解並びに文化交流を促進するため、交流事業を行う。 時期: 9月、場所: 江原道、人数: 派遣15名程度
韓国・江原道	生涯スポーツ推進事業(日韓スポーツ交流事業)	スポーツ課	3,683	公益財団法人鳥取県体育協会と大韓民国江原道体育会が2001(平成13)年11月6日に締結したスポーツ交流協定書に基づき、韓国江原道から選手団を受け入れ、ソフトテニス・フェンシング・卓球の3種目でスポーツ交流を行う。 時期: 12月(4泊5日)、場所: 江原道
韓国・江原道	生涯スポーツ推進事業(江原道との障がい者スポーツ交流)	スポーツ課	243	県民のスポーツに対する意欲・関心を高め、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現と健康・体力の保持増進を図るため、当県の友好交流地域である韓国江原道から選手団を受け入れ、障がいがある方向士によるスポーツ交流を行う。 時期: 9月～11月頃(2泊3日)、場所: 江原道
韓国・江原道	障がい者福祉関連鳥取県・江原道交流事業	障がい福祉課	578	当県と韓国江原道の障がい福祉関係者の交流を促進することにより、相互理解と友好を深め、当県の障がい福祉施策の一層の発展を図ることを目的として、障がい者福祉関係者が江原道を訪問し、障がい者福祉関係施設の視察、障がい者福祉施策に係る意見交換を行う。 時期: 7月下旬～8月上旬(3泊4日)、人数: 8名
韓国・江原道	水産業企画振興事業(日韓水産科学技術協力推進事業)	水産課	2,292	日本海の水産資源に対する日韓両国の共通認識を醸成し、水産分野における協力関係を構築することを目的として「第18回日韓水産セミナー」を開催する。2018(平成30)年度は、当県での10回目の開催を記念し、知事表敬訪問、記念植樹等を実施予定。 時期: 秋頃(3泊4日)、場所: 鳥取県、人数: 10名程度
韓国・江原道	衛生環境研究所発信事業(「第14回鳥取県・江原道環境衛生学会」)	衛生環境研究所	651	2001(平成13)年に締結した鳥取県衛生環境研究所と江原道保健環境研究院との「環境衛生分野における学術交流に関する覚書」に基づき、学術交流の推進を目的とした「第14回鳥取県・江原道環境衛生学会」を開催する。 時期: 9月～11月頃、場所: 江原道、人数: 7名(詳細未定)
韓国・江原道	英語教育強化推進事業	教育委員会 高等学校課	960	韓国江原外国語教育院で毎年夏に開催されている「初・中等短期集中英語職務研修」に当県から教員4名を派遣し、江原道の教員と共に英語運用能力及び英語指導力を向上させるとともに、現地の教員の日本語指導力向上に貢献する。 時期: 夏頃、場所: 江原道、人数4名(中学校教員2名、高等学校教員2名)
韓国・江原道	環日本海教育交流推進事業(教員交流事業)	教育委員会 小中学校課	2,240	鳥取県教育委員会と江原道教育庁が、1995(平成7)年に締結した「姉妹結縁協定」に基づき、両地域の教員による交流事業を実施する。 時期: 6月、場所: 鳥取県、人数: 10名
韓国・江原道	環日本海教育交流推進事業(児童生徒交流事業)	教育委員会 小中学校課	2,274	鳥取県教育委員会と江原道教育庁が、1995(平成7)年に締結した「姉妹結縁協定」に基づき、両地域の児童生徒による交流事業を実施する。 時期: 9月、場所: 江原道、人数: 25名
韓国・江原道	博物館交流事業(国立春川博物館との交流事業)	教育委員会 博物館	300	鳥取県立博物館と国立春川博物館が、2010(平成22)年に締結した「友好交流及び協力に関する協定」に基づき、春川博物館の職員を受入れ、各館の活動内容や調査研究等、今後の交流について情報交換等を行う。 時期: 未定(4泊5日)、場所: 鳥取県、人数: 4名

対象地域	事業名	担当課	予算額 (千円)	主な事業内容
韓国・江 原道	鳥取県議会・江原道議会友好 交流	県議会事務局	— (未定)	鳥取県議会と江原道議会が、2010(平成22)年に締結した「友好交流に関する合意書」に基づき、1年毎に交互訪問している。2018(平成30)年度は江原道議会が鳥取県を訪問予定。実施時期等詳細は、今後、江原道議会と協議の上決定する。
韓国・江 原道	委員会費(労使ネットとっとり広 報・機能強化事業—韓国江原 道地方労働委員会との研究交流 事業—)	労働委員会	1,289	鳥取県労働委員会と韓国江原道地方労働委員会が、2016(平成28)年9月に締結した「業務協力・交流協約書」に基づき、両委員会の委員・事務局職員の相互訪問による協議実施及び労働委員会制度の現状・方策並びに紛争事例等に関する研究、情報提供を行う。
韓国・江 原道	医工連携推進事業(北東アジア 地域医療機器産業参加支援事 業)	産業振興課	644	江原道の原州医療機器テクノバレーと連携し、現地医療機器メーカーの需要調査や県内企業とのビジネスマッチングを行う。 時期:9月頃、内容:原州市企業の一斉調査や商談実施
韓国・釜 山	鳥取発!まるごと県産材普及 推進事業	県産材・ 林産振興課	8,258	海外における鳥取県産材製品のPR活動を強化し、県産材の販路拡大を図るため、県産材製品の販売体制整備等を支援する。 時期:4月～、場所:釜山広域市
韓国	韓国交流推進事業(琴浦町日 韓友好資料館企画運営委員会 への助成)	交流推進課	186	日韓友好資料館企画運営委員会に対し、資料館の運営に必要な費用の支援を行う。(※日韓友好資料館企画運営委員会:日韓友好資料館及びその展示物等についての企画・運営を行っている。)
韓国	韓国交流推進事業(「話してみ よう韓国語」鳥取大会開催)	交流推進課	1,305	当県とつながりの深い韓国に対する県民の理解促進、韓国語学習者の拡大・意欲向上を目的に、学習者が日頃の学習成果を発表するための大会「話してみよう韓国語・鳥取大会」を開催する。 時期:12月頃、場所:鳥取県、主催:鳥取県、駐大阪韓国文化院
韓国	青谷上寺地遺跡出土品調査研 究等事業	教育委員会 埋蔵文化財 センター	677	青谷上寺地遺跡の特徴である朝鮮半島との交流の実態を把握するため、韓国の遺跡から出土している遺物や遺構、遺跡の立地環境などの比較研究を行うとともに、韓国の考古学・文化財関係者との情報交換を図る。
中国・吉 林省	中国交流推進事業(吉林省県 費留学生受入事業)	交流推進課	1,521	当県と中国吉林省の友好親善に寄与する人材育成を目的として、2019年度から県内大学への留学生の受入、県内大学生・高卒生の留学派遣を行う。受入派遣予定大学等の関係機関による事前調査、再来年度受入のための試験を実施する。
中国・吉 林省	中国交流推進事業(吉林省青 少年交流事業)	交流推進課	80	当県の友好交流地域である中国吉林省において日本語を履修する大学生等、日本に関心の高い学生を受け入れ、県内の大学で日本語や日本文化の体験並びに県内の学生との交流の機会を設ける。 時期:8月、場所:鳥取県、人数:10名
中国・吉 林省	自治体職員協力交流事業(吉 林省)	交流推進課	7,597	当県による国際協力の取組の一環として、友好交流地域である中国吉林省から職員を「協力交流研修員」として受け入れる。職員は予め設定したテーマに沿って県庁や関係機関等で研修し、当県の持つ行政のノウハウの習得するとともに人的ネットワークの形成を図る。※予算はジャマイカを含んだ金額 時期:10ヶ月程度、人数:1名
中国・河 北省	中国交流推進事業(青少年植 林交流団派遣)	交流推進課	488	当県の友好交流地域である中国河北省へ県内高校生による青少年交流団を派遣し、省林業庁が実施する植林事業に参加する。同年代の現地青少年と共に植林・緑化作業を行うことで環境意識の涵養、相互理解の促進を図る。 時期:8月、場所:河北省、人数:10名
中国・河 北省	中国交流推進事業(交流協議 団派遣)	交流推進課	—	当県の友好交流地域である中国河北省との交流事業を効果的かつ円滑に実施するため、翌年度事業に係る包括的な協議を行う。 時期:10月、場所:河北省、人数:3名
中国・河 北省	博物館交流事業(河北省博物 院との交流事業、交流20周年 記念展)	教育委員会 博物館	2,793	鳥取県立博物館と河北省博物院が、1998(平成10)年に締結した「友好交流館締結協定書」に基づき、河北省博物院を訪問し、20周年記念展の打合せ・活動内容や調査研究等、今後の交流について情報交換等を行う。また、2018(平成30)年度は交流20周年に当たるため、当県で交流20周年記念展を開催する。 [交流]時期:未定(4泊5日)、場所:河北省、人数:4名 [記念展]時期:11月～12月、場所:鳥取県立博物館
中国・香 港	【地方創生推進交付金】国際航 空便利用促進事業	観光戦略課	80,480	米子空港に香港定期便の運航継続と発展を図るため、運航する航空会社に対して、運航に要する経費の一部を支援するとともに、県民等の利用を促進する。 (1) 運航経費支援事業 (2) 【継続】国際定期便利用者支援 (3) 国際定期便利用促進協議会負担金 (4) 米子香港便利用促進対策事業
中国・香 港	中国交流推進事業(香港青年 交流事業)	交流推進課	—	香港との幅広い分野での交流促進を図るため、香港政府が実施する青年海外派遣の受入れを行う。 時期:未定、場所:鳥取県、人数:15名程度
ロシア・沿 海地方	ロシア極東地域交流推進事業 (青少年交流事業)	交流推進課	1,175	ロシア極東地域における当県の認知度を高め、ロシア沿海地方との友好交流関係を更に発展させるため、以下の青少年交流事業を実施する。(※当県と沿海地方は、1991(平成3)年に「友好交流に関する覚書」を締結。) 1 青少年交流事業(※以下、各事業の実施時期は未定) (1) 沿海地方囲碁交流団の派遣[場所:沿海地方] (2) 鳥取県青少年環境交流団の派遣[場所:沿海地方] (3) 沿海地方青少年柔道交流団の受入[場所:鳥取県] (4) ロシア極東地域日本語履修者交流団の受入場所:鳥取県 2 交流地域での鳥取県PR(鳥取県文化デイズの開催)[場所:沿海地方] 3 国際交流員による県民向けのロシア講座[場所:鳥取県]
ロシア・沿 海地方	「ロシアにおける日本人・日本に おけるロシア年」交流促進事業 (パレエ交流促進事業)	交流推進課	3,000	2016(平成28)年12月、日露間における人的交流の拡大に向けた方策の一つとして、2018(平成30)年を「ロシアにおける日本人」及び「日本におけるロシア年」とすることが両国首脳により合意されたことから、当県ではロシア沿海地方からパレエ交流団を受け入れ、県内のロシアに対する関心の喚起を図る。 時期:12月頃 場所:鳥取県 人数:10～20名

対象地域	事業名	担当課	予算額 (千円)	主な事業内容
ロシア・沿海地方	博物館交流事業(アルセーニエフ名称沿海地方国立博物館との交流事業)	教育委員会 博物館	695	2010(平成22)年に締結した鳥取県立博物館とアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館との「友好交流及び協力に関する協定」に基づき、アルセーニエフ博物館を訪問し、今後の両館相互の博物館交流、特に普及活動についての情報交換等を行う。 時期:未定(4泊5日)、場所:ロシア沿海地方、人数:4名
ロシア・サントペテルブルク市	「ロシアにおける日本年・日本におけるロシア年」交流促進事業(鳥取県の伝統をロシアに広める事業)	交流推進課	5,000	日露両国首脳により、2018(平成30)年を「ロシアにおける日本年」及び「日本におけるロシア年」とすることが合意されたことから、当県では、県内の文化芸術団体をロシア文化の中心地であるサントペテルブルク市に派遣し、同市内での展示会開催を通じて、現地自治体と今後の交流発展を図る。 時期:9月頃 場所:鳥取県 人数:10~20名
ロシア	【地方創生推進交付金】ロシアからの訪日観光客拡大事業	観光戦略課	3,000	当県へのロシア人観光客の更なる増加を促進するため、交流地域である沿海地方を中心としてロシアからの定期航路等を利用した誘客を行う。
ロシア	ロシアビジネス拠点化構築事業	通商物流課	18,809	当県は2017(平成29)年、鳥取県版「中小企業・人的交流分野における協力プラットフォーム」を設立。廃棄物処理・観光・食品分野等でロシア側企業との協力覚書締結、ロシアの肉食産業における販路構築など、新規ビジネスの「芽」が育ちつつある。こうした状況を踏まえ、鳥取県版プラットフォームの中で優先的に取組む分野を定め、商談会・見本市出展及びミッション相互派遣などを活用しながら、県内企業のロシアからの需要獲得案件を増やしていく。 (1)鳥取県版「中小企業及び人的交流分野における協力プラットフォーム」支援事業 (2)鳥取県ウラジオストクビジネスサポートセンター運営事業 (3)ロシアビジネス専門マネージャー運営事業 (4)ロシアNIS貿易会負担金
モンゴル・中央県	モンゴル中央県交流推進事業(医療専門家派遣事業)	交流推進課	1,136	当県の友好交流地域であるモンゴル中央県との協力関係を発展させるため、モンゴルにおいて発展途上である医療分野における交流事業を実施する。(※当県と中央県は1997(平成9)年7月「友好交流に関する覚書」を締結。) 時期:9月、場所:中央県、人数:2名程度
モンゴル・中央県	モンゴル交流推進事業(農業研修生受入)	交流推進課	382	当県の友好交流地域であるモンゴル中央県との協力関係を発展させるため、中央県から農業指導者である公務員を受け入れ、野菜の生産技術の向上を図る研修を実施するほか、当県の農業施策や効率的な指導方法の習得を図る。 また、モンゴル農業研修員の受入研修機関である県立農業大学校が創立90周年を迎えることから、記念事業に元研修員を招へいし、成果発表を行う。 【農業指導者の受入れ】時期:9月~11月、場所:鳥取県、人数:1名 【元研修員の受入れ】時期:12月、場所:鳥取県、人数:2名
モンゴル・中央県	モンゴル交流推進事業(行政研修生受入)	交流推進課	460	当県の友好交流地域であるモンゴル中央県との協力関係を発展させるため、中央県内の行政職員を受け入れ、当県での研修受講を通じて資質向上を図るとともに、当県との交流促進において中心的な役割を担う人材の育成を図る。 時期:2月、場所:鳥取県、人数:3名
モンゴル・中央県	モンゴル交流推進事業(留学生支援鳥取県奨学金)	交流推進課	2,239	当県の友好交流地域であるモンゴル中央県との協力関係を発展させるため、将来、両地域間の交流のコーディネーターとなりうる中央県出身の優秀な若者に対して奨学金を給付する。 時期:4月~3月(1年間)、人数:1名
モンゴル・中央県	モンゴル交流推進事業(青少年受入)	交流推進課	511	当県の友好交流地域であるモンゴル中央県との協力関係を発展させるため、中央県内で日本語を履修する学生を受け入れ、日本文化の体験・県内学生との交流等を行う。(※2016(平成28)年度から受入・派遣を隔年で実施)。 時期:7月、人数:7名
ジャマイカ・ウエストモアランド県	ジャマイカ・ウエストモアランド県交流推進事業(職員派遣事業)	交流推進課	1,638	当県の友好交流地域であるウエストモアランド県へ当県職員をJICAの青年海外協力隊員として派遣し、ウエストモアランド県が抱える課題解決のため支援を行うほか、両県の交流が円滑に進むよう調整業務を行う。(※当県とウエストモアランド県は、2016(平成28)年に「姉妹提携に関する協力覚書」を締結。)
ジャマイカ・ウエストモアランド県	ジャマイカ・ウエストモアランド県交流推進事業(マラソン交流事業)	交流推進課	4,774	当県で開催される「鳥取マラソン」、ウエストモアランド県で開催される「レゲエマラソン」に両県が選手を相互派遣し、マラソンを通じたスポーツ交流を行う。 【派遣】時期:12月頃、場所:ウエストモアランド県、人数:選手2名ほか随員職員 【受入】時期:3月、場所:鳥取県鳥取市、人数:選手2名ほか随員職員
ジャマイカ・ウエストモアランド県	ジャマイカ・ウエストモアランド県交流推進事業(青少年交流事業)	交流推進課	9,499	両県の青少年を相互派遣し、文化発信・現地高校生等との交流を行い、国際性豊かな青少年の育成を図る。 【派遣】時期:10月頃、人数:生徒10名ほか随員職員 【受入】時期:調整中、人数:10名ほか随員職員
ジャマイカ・ウエストモアランド県	ジャマイカ・ウエストモアランド県交流推進事業(友好交流・国際貢献事業)	交流推進課	3,059	カリコム地域初となる地中間交流のトップランナーとして、本県が持つ技術力を当地で課題となっている分野へ技術支援を行う。(※派遣・受入ともに詳細は調整中。)
ジャマイカ・ウエストモアランド県	ジャマイカ・ウエストモアランド県交流推進事業(ウエストモアランド県PR事業)	交流推進課	1,000	当県の友好交流地域であるウエストモアランド県に対する県民の理解を促進するため、ジャマイカイベントや県民が利用する施設等にウエストモアランド県の紹介コーナーを設置する。
ジャマイカ	オリンピックホストタウン交流事業	スポーツ課	5,560	「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催に向け、国の認定を受けたホストタウン交流計画に基づく交流事業等を実施する。 (1)ジャマイカ陸上選手(学生)の「布勢スプリント2018」への出場招待 「布勢スプリント2018大会」へ出場招待するとともに、県内高校生との交流事業、県内視察・文化体験、交流協議等を実施する。 時期:6月上旬、場所:鳥取県鳥取市、人数:4名 (2)ジャマイカ陸上競技連盟のコーチによる「陸上セミナー」の開催 当県の小中高生及び指導者の陸上技術力向上を目的とした「陸上セミナー」を開催するとともに、2020年事前キャンプの実施に向けた協議を行う。 時期:7~8月、場所:鳥取県鳥取市・倉吉市・米子市、人数:3名

対象地域	事業名	担当課	予算額 (千円)	主な事業内容
ジャマイカ	自治体職員協力交流事業(ジャマイカ)	交流推進課	7,597	当県による国際協力の取組の一環として、ジャマイカから職員を「協力交流研修員」として受け入れる。職員は予め設定したテーマに沿って県庁や関係機関等で研修し、当県の持つ行政のノウハウの習得するとともに人的ネットワークの形成を図る。 時期:10ヶ月程度、人数:1名
台湾・台中市	「2018台中国際花の博覧会」参加事業	交流推進課	13,069	当県への観光誘客を図ることを目的として、台中市で開催される「2018台中国際花の博覧会」へ出展し、当県の観光・物産をPRする。また、これに合わせて行政代表団を派遣し、当県と台中市の交流促進等を図る。(※鳥取県(観光交流局長)と台中市(観光旅遊局長)は、2017(平成29)年10月に観光友好交流提携に関する協定書を締結。) (1)「2018台中国際花の博覧会」への出展[時期:11月、場所:台中市] (2)行政代表団の派遣[時期:11月、場所:台中市、人数:4名] (3)県産品レストランフェアの開催[時期:11月、場所:台中市] 上記博覧会に合わせ、台中市内でレストランフェアを開催し、県産品を使用した料理の提供やメディア向け試食会を実施する。 (4)バイヤー招へい[時期:未定、場所:鳥取県、人数:4名] 上記博覧会でのブース出展、レストランフェアの実施に当たり、台中市からバイヤーやシェフを招へいし、商材選定を行う。
台湾・台中市	「2018台中国際花の博覧会」参加事業	交流推進課	13,069	当県への観光誘客を図ることを目的として、台中市で開催される「2018台中国際花の博覧会」へ出展し、当県の観光・物産をPRする。また、これに合わせて行政代表団を派遣し、当県と台中市の交流促進等を図る。(※鳥取県(観光交流局長)と台中市(観光旅遊局長)は、2017(平成29)年10月に観光友好交流提携に関する協定書を締結。) (1)「2018台中国際花の博覧会」への出展[時期:11月、場所:台中市] (2)行政代表団の派遣[時期:11月、場所:台中市、人数:4名] (3)県産品レストランフェアの開催[時期:11月、場所:台中市] 上記博覧会に合わせ、台中市内でレストランフェアを開催し、県産品を使用した料理の提供やメディア向け試食会を実施する。 (4)バイヤー招へい[時期:未定、場所:鳥取県、人数:4名] 上記博覧会でのブース出展、レストランフェアの実施に当たり、台中市からバイヤーやシェフを招へいし、商材選定を行う。
台湾・台中市	台湾交流推進事業(海外大学生インターンシップ受入事業)	交流推進課	1,494	2011(平成23)年度から、県内観光施設の外国人観光客への対応力向上、台湾の学生の語学習得・日本式サービスの体得・県内観光資源の魅力発信を目的として、台湾の大学生等を県内観光施設に受入れ、1ヶ月程度の就業体験を行っている。 日程:7月～8月頃、場所:鳥取県、人数:50名程度
台湾・台中市	台湾交流推進事業(サマースクール団(青少年訪問団)派遣事業)	交流推進課	1,156	2005(平成17)年度から開始した台湾台中市との青少年交流(毎年交互に派遣・受入を実施)を通じ、両県市の青少年の相互理解・国際理解の促進を図る。 日程:7月～8月頃、場所:台中市、人数:12名
台湾・台中市	台湾交流推進事業(自転車イベント相互派遣事業)	交流推進課	1,494	当県と台湾台中市が2017(平成25)年に締結した「観光交流協定」に基づき、両地域で開催される自転車関係イベントに交流団を相互派遣し、自転車交流の推進を図るとともに、観光交流及び民間交流の促進を図る。 時期:未定、場所:台中市、人数:10名
台湾・台中市	台湾交流推進事業交流協議団派遣)	交流推進課	360	当県と台湾台中市との今後の交流方針及び交流事業について協議するため、交流協議団を派遣する。 時期:未定、場所:台中市、人数:3名
台湾	台湾市場誘客事業	観光戦略課	10,000	台湾からの観光客を誘致するため、情報発信やメディア招請、旅行社と連携した旅行商品造成支援等などの誘客活動に取り組む。また、観光交流の機運が高まっている台中市からの観光客誘致を本格的に行うため、台中市における本県の観光情報発信などに積極的に取り組む。
ブラジル	日本人ブラジル移住110周年記念事業	交流推進課	1,949	ブラジル・サンパウロ市で開催される日本人ブラジル移住110周年記念式典及びブラジル鳥取県人会創立65周年記念式典に参加するため鳥取県訪問団を派遣する。 時期:7月、場所:サンパウロ市、人数:3名程度
ブラジル	ブラジル交流促進事業(技術研修員受入事業)	交流推進課	2,834	当県とブラジル鳥取県人会との今後の交流継続・発展並びに更なる民間交流の促進を図るため、ブラジルに在住する当県出身者の子弟に対し、当県における技術研修の機会を設け、ブラジルでの社会的・文化的・経済的地位の向上を図る。 時期:4～3月(12ヶ月)、場所:鳥取県、人数:1名
ブラジル	ブラジル交流促進事業(留学生受入事業)	交流推進課	3,836	当県とブラジル鳥取県人会との今後の交流継続・発展並びに更なる民間交流の促進を図るため、ブラジルに在住する当県出身者の子弟に対し、本県における修学の機会を設け、ブラジルでの社会的・文化的・経済的地位の向上を図る。 時期:4～3月(12ヶ月)、場所:鳥取県、人数:1名
ブラジル	ブラジル交流促進事業(中堅リーダー交流事業※派遣)	交流推進課	200	当県とブラジル鳥取県人会との今後の交流継続・発展並びに更なる民間交流の促進を図るため、ブラジルに中堅リーダー(今後の民間交流において一定の役割を担うことが期待される人材)を約2週間派遣し、ブラジル鳥取県人会や当地の民間団体等との交流・意見交換を通じ、民間主体による自立的な交流の活性化を図る。 時期:7月頃(14日間)、場所:ブラジル、人数:1名
ブラジル	ブラジル交流促進事業(日本語指導員派遣事業)	交流推進課	—	当県とブラジル鳥取県人会との今後の交流継続・発展並びに更なる民間交流の促進を図るため、ブラジル・サンパウロ州にある第二アリアンサ鳥取村へ日本語指導員(教員)を派遣し、現地での日本語指導及び日本・本県の文化紹介等を行うことにより、ブラジルとの交流や本県の国際理解教育を推進する。 時期:4～3月(12ヶ月)、場所:ブラジル、人数:1名
ブラジル	日本人ブラジル移住110周年記念式典及びブラジル鳥取県人会創立65周年記念式典議員派遣	県議会事務局	4,308	日本人ブラジル移住110周年記念式典及びブラジル鳥取県人会創立65周年記念式典に出席するとともに、ブラジル鳥取県人会等との交流を通じた海外移住の歴史的意義の再認識及び今後のブラジルとの交流を深化させる。

対象地域	事業名	担当課	予算額 (千円)	主な事業内容
米国・バーモント州	米国バーモント州交流10周年記念事業	交流推進課	2,775	米国バーモント州と交流10周年を期に姉妹提携を結ぶための記念事業を行い、行政団および文化公演団を派遣して両県州交流のPRを行う。(※当県とバーモント州は2008(平成20)年に「国際親善に関する覚書」を締結。)
米国・バーモント州	鳥取県国際交流財団助成事業「鳥取県・米国バーモント州青少年交流事業」	交流推進課	8,369	公益財団法人鳥取県国際交流財団が実施する米国バーモント州との高校生相互交流事業を支援する。
米国・バーモント州	バーモント州立大学附属病院との交流事業	病院局	1,760	2018(平成30)年12月の県立中央病院における新病院オープンを契機に、従来以上に「患者中心の医療」に取り組むため、チーム医療の先進国であり、患者満足度の高い米国バーモント州立大学附属病院と交流し、職員の意識啓発と今後の病院のサービス向上を図る。 2018年は当県とバーモント州が友好交流協定締結10周年を迎える年であることから、記念事業の開催に合わせて、交流事業の実施に向けた調査訪問団を派遣する。
オーストリア	【地方創生推進交付金充当事業】林業創生オーストリア技術導入推進事業	林政企画課	4,885	地形が急峻で日本と似た条件にも関わらず、安全で低コストな林業を実現し木材生産量を増加させたオーストリアの先進的な林業を学び技術導入を図るため、若手林業者のオーストリア派遣とオーストリアからの講師招へいを行い、将来像を見据えた林業振興に役立てる。 (1)オーストリア林業公開研修会開催事業 (2)オーストリア林業シンポジウム開催事業 (3)鳥取・長野林業交流連携事業 (4)オーストリア研修修了者ネットワーク&スキルアップ事業
タイ・バンコク都	鳥取県東南アジアビューロー設置運営事業	通商物流課	9,997	当県及び県内団体・企業等の東南アジア地域における販路・受注拡大、観光客誘致、情報発信等を支援する現地拠点として、タイ・バンコク都に「鳥取県東南アジアビューロー」を設置運営し、企業の海外需要の獲得のためハンズオンで現地サポートを展開する。
シンガポール	シンガポール市場誘客事業	観光戦略課	11,000	シンガポール市場の動向、シンガポール人観光客の嗜好を踏まえて、これまで連携している旅行社との取組を強化するとともに、訪日旅行者の9割を占める個人客に向けた情報発信を行う。また、2017(平成29)年10月に就航したシルクエア広島便を使ったツアーの誘致や、本県初となるシンガポールとの相互チャーター便の実施に向けて調整を進める。